

かみましき

本年度最後の郡P連新聞は、各町のPTA活動の様子をお伝えします。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、どの町も思い通りの活動ができなかった1年でした。

その中でも、各学校でのPTA活動は予防対策を取りながら取り組まれていました。そこで、今回そうした活動の様子を報告していただきました。

～甲佐町～

親子でクリーン大作戦

甲佐町PTA連絡協議会では、7月26日(日)、1月24日(日)の2回、「親子でクリーン大作戦」を行いました。

これは、コロナ禍で様々な行事の中止を余儀なくされる中、「感染症予防対策を取りながら、今できることをやろう!」と計画・実施したものです。

町PTAから配付した軍手を活用し、自宅周辺や道路、公民館等の除草や清掃を行いました。30分程度の活動でしたが、子供たちからは「きれいになってすっきりした」「登下校の時、歩きやすくなった」等の感想が聞かれました。

今後も甲佐町PTA連絡協議会では、単位PTAと連携を図りながら、子供た



ちの健全育成に努めてまいります。

発行責任者 宇土 聡
郡内学校数 小学校 23校
中学校 8校
PTA会員数 6,290名



親子でクリーン大作戦の様子



甲佐町PTA母親部長 山下優美子

～御船町～

御船町PTA連絡協議会です。今年度はコロナ禍により、PTA活動を行うのが難しい一年でした。会議は密を避けるようにして、マスク着用、消毒、検温等の感染予防対策に努めながら実施しました。



イベントにおいては、毎年7月に開催の町P球技大会は中止。また、年明け1月に町の青少年健全育成大会と共に実施される町P研修大会も開催が出来なくなりました。

そのような中でも行った活動としては、イベント中止により余った予算を各学校に「子供を守るための活動費」として配付し、各校の活動費の一部として活用していただきました。また、7月に起きた県南部などを襲った豪雨災害では、各学校におきまして義援金を送る活動に参加させていただきました。

学校によっては募金活動やリサイクル等での収益を義援金にさせていただきました。

今回は郡P会議に参加することでしたが、とても良い経験ができました。今後も町と郡との連携を深めていければと思います。



リサイクル活動の様子

御船町PTA母親部長 吉本夏子

～益城町～

益城町PTA母親部の井村です。今年度は主な活動がありませんでしたので、私の子供が通う益城中央小、木山中での一年、保護者として感じたことをお伝えいたします。

学校行事は、健康管理の徹底、時短や入場制限を設けるなど、先生方の努力と保護者の協力で規模の縮小はありましたが、無事に行われました。

中学校の部活動では、練習の制限や試合数、発表の場の激減により、悔しい思いをした子供たちのため、各部分で感染対策を徹底した代替試合があり、精一杯戦うことができました。

学習面では、昨年末からタブレットの導入が始まり、今後の学習に有意義に活用されることを期待しています。

最後になりましたが、今年度も先生方の温かい支援があり、保護者の協力があって子供たちの成長につながっていることを感謝いたします。

益城町PTA母親部長 井村綾子

～山都町～

栄養バランスのとれた朝ごはんについて

緊急事態宣言後の休校が、あけてから生活リズムが乱れ、朝食を食べずに学校に登校する子供たちが増えたと聞き、母親部と連携をとり「食育活動」を実施しました。

まずは、子供たちに伝えられるように情報を集め、打合せは電話やラインにて情報共有と話し合いをしました。今回のコロナで改めて感じましたが、中島小学校は保護者、先生の連携が取れているため普段のように会議がなくとも問題なくスムーズに進めることができました。

給食献立表などで御覧になったことがあるかと思いますが、子供たちは学校での「栄養の学習」で3つの食品群(赤、黄、緑)について学びます。

赤は主に体をつくる、タンパク質やカルシウム
黄は主に熱や力のもとになる、炭水化物や脂肪
緑は主に体の調子を整える、ビタミンやカロチン
黄3 (タンパク質やカルシウム)
赤1 (炭水化物や脂肪)
緑2 (ビタミンやカロチン)
食べる量を覚えておくことが利です!

子供たちは1月24日から1月30日までの「学校給食週間」でのリモート発表の際、上級生が下級生に給食クイズを実施しました。郡の会議にて聞いていた



嘉島町の中学校は、合唱コンクールのためフェイスタウンを贈りました。授業参観は、地区ごとや学年ごとにも参観の時間をふり分け、工夫もありました。どの学校も、会議を重ね、この実現したものでした。このことにより、PTAのつながりが、より一層深くなつたようです。

今後この活動を参考にしながら、少しずつ今まで通りの活動ができるようにしていきたいと思えます。

嘉島町PTA母親部長 福永麗砂

嘉島町

本年度の嘉島町P活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により例年通りとはいきませんでした。

しかし、各学校PTAの活動は、感染予防対策を取りながら、実施することができました。

嘉島中学校は、合唱コンクールのためフェイスタウンを贈りました。授業参観は、地区ごとや学年ごとにも参観の時間をふり分け、工夫もありました。どの学校も、会議を重ね、この実現したものでした。このことにより、PTAのつながりが、より一層深くなつたようです。

今後この活動を参考にしながら、少しずつ今まで通りの活動ができるようにしていきたいと思えます。

嘉島町PTA母親部長 福永麗砂



給食クイズの様子

見つめてみよう『PTAの担う役割』

元(公社)日本PTA全国協議会(熊本県PTA連合会) 会長
(一財)熊本県PTA教育振興財団 理事長 曾我 邦彦

コロナ禍の一年、今までにない社会の変化を多くの方が経験しました。残念ながら今もコロナ禍は継続中で、PTAも例外なく影響を受けています。しかし、現状を好機と考え、PTAの担う役割と重要性を見つめ直してみたいと思いませんか。

全国組織のPTAは昭和23年、戦後GHQの方針で民主主義教育推進の為に生まれたのが始まりです。日本の学校は地域の核でしたので、日本の未来を担う子供たちの「地域応援団」という意識で、ほとんどの保護者と先生が参加する珍しい団体として発展してきました。私が会長時代は約1000万人の会員を有する日本最大の社会教育団体でした。コロナ禍の今、この発展してきた原点を見つめ直す事が重要ではないかと思えます。全員が参加すると考えると、会員の皆さんそれぞれ価値観の違いや、年齢差もあり、PTAの運営は大変なことです。しかしPTAの活動は『未来を担う子供たちのため、我が子のため』との、一つの共通の思いで活動を共有していると考えることが大切です。全ての皆さんの了承を得ながら活動を進めていくので、役員は個性、時代の変化に左右されすぎず、それぞれの地域に即した活動を行うことができます。ひいてはそれが故郷を大事に思う子供たちを育み、地域の連帯感も生まれることになるのです。子供たちの為にこの学校のPTAは何をどのように応援するか見つめ直してみたいと思いませんか。

また、全国のPTA活動が同じではないため、各地の活動から学ぶことが出来るようにもなっています。日本PTAからは活動事例集なども発行されており、また、全国で様々に行われているPTA活動の研修会も知恵袋となります。PTA活動の基本は学校単位のPTAですが、市町村単位、都道府県単位、全国とPTA組織が作られ、単位PTAから出てきた問題事案を解決するために、事案によってそれぞれの行政と各組織PTAでの交渉が行われています。PTA活動で未来を担う子供たちの教育環境を向上させることが出来たら幸いではないでしょうか。

私はPTA活動の応援の仕方は会費を払うこと、研修会で学ぶこと、活動に参加すること、役員をされることなど様々だと思っています。どれか一つでも大きな応援です。それぞれの応援に感謝し合うポジティブな組織に発展されることを期待しています。

～八代市立坂本中学校より

お礼の手紙が届きました～

昨年7月の豪雨により被災しました本校に対し、過分なるご厚情を賜り誠にありがとうございました。

さて、本校は昨年12月に坂本中学校校舎での学習を再開させることができ、少しずつ今までの日常を取り戻しているところです。

この度、本校の3年生14人から「ご支援をいただいた各方面の方々に対してお礼を言いたい。」「坂本中の現在の様子や坂本町の紹介をしたい。」等の申し出があり、ビデオレターを作成いたしました。どうぞご覧ください。

閲覧方法

- ① 「八代市立坂本中学校」を検索しホームページへ
- ② ログインするID sakamoto6000 PW sakamoto6000
- ③ 「支援に対するお礼動画」をクリック

◇ご協力ありがとうございました。 七月豪雨災害義援金について ご報告

約半年にわたり、PTAの皆様にご協力いただきました義援金は、被災された地域にお届けしました。本当にありがとうございました。お送りした義援金はご覧のとおりです。

人吉市PTA連絡協議会	様へ	337,098円
球磨郡PTA連絡協議会	様へ	337,095円
葦北郡PTA連合会	様へ	337,095円
八代市PTA連絡協議会	様へ	337,095円

